

現状の減災に係る取組及び
今後の取組内容等について
～ 五泉市 ～

現状の取組み状況(市役所庁舎の水害時における対応)

- 五泉市本庁舎は平成23年7月新潟・福島豪雨水害時、早出川の内水氾濫(支川太田川)により、庁舎周辺の道路等が冠水。
- 庁舎へのアクセス(出入り)等に多少支障が生じたが、市庁舎(5階建)であり、防災拠点の施設機能(自家発電室は2階、コンピュータサーバー3階にそれぞれ設置)は確保。

庁舎の階層別の拠点機能

発電機室は2階、サーバー室、無線室は3階に設置されており、浸水想定深より上階にあるため、H23.7水害時でも市役所機能に支障はなかった。



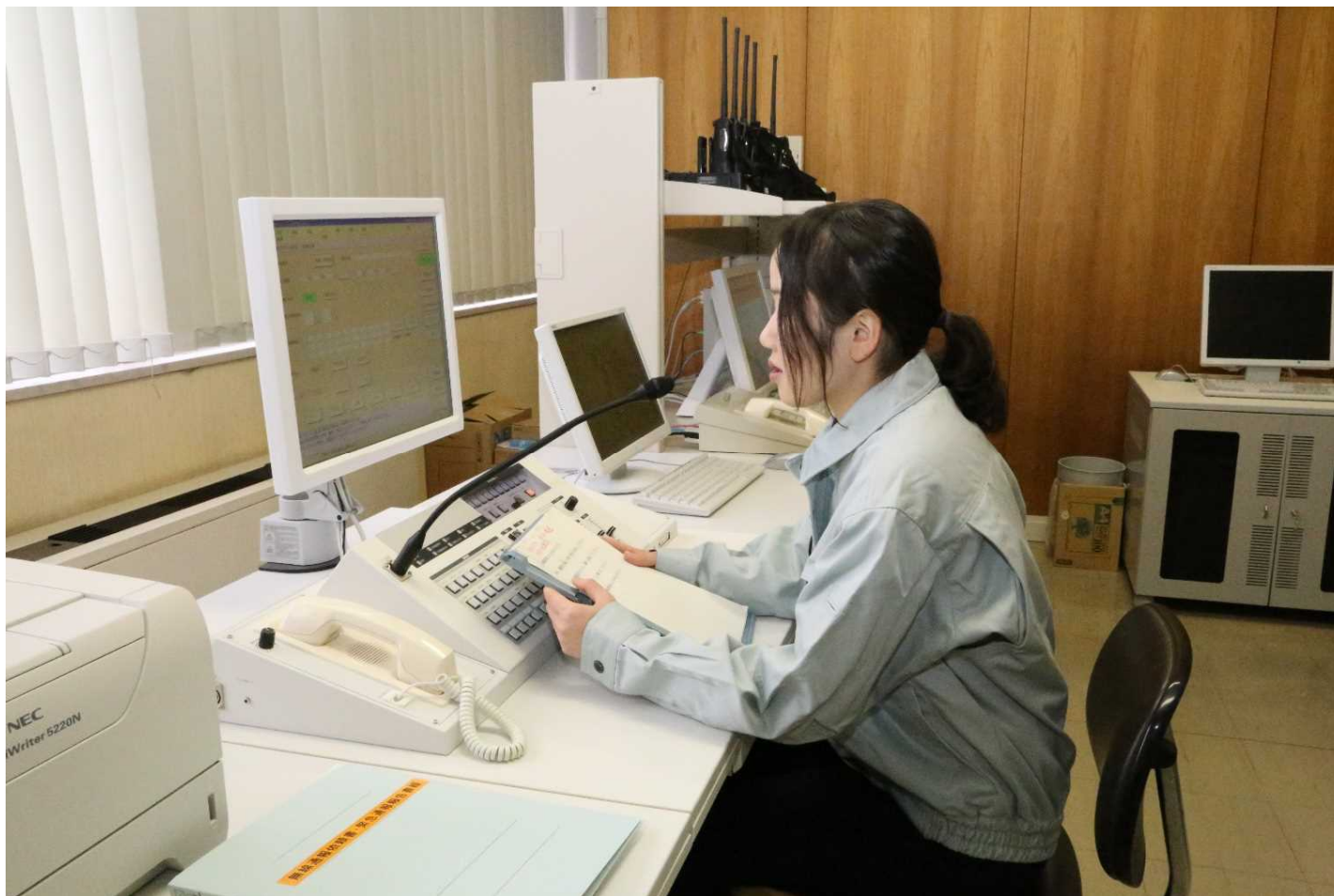
浸水想定深は1.5mであるが、盛土しており、H23.7水害時でも浸水はしていない。



住民への情報伝達の体制や方法

- 五泉市は、防災行政無線の屋外拡声子局を205基整備し、市内全域をカバー（平成24年から平成27年）している。また、メールでの情報配信や広報車等で住民に周知。
- 防災行政無線は豪雨（暴風）時における伝達率の課題もあり、メールでの情報配信（登録者数）の強化を図る必要がある。

五泉あんしんメール 平成27年1月から配信開始



災害警戒本部設置訓練の実施

○6月27日に、早出川善願観測所で避難判断水位を超えた想定で、メールによる全職員の参集（配信訓練）、災害警戒本部会議の訓練の実施。



災害警戒本部会議訓練



7/6豪雨 災害対策本部会議



7/6豪雨 基幹避難所